

まちづくり活動支援対象事業のご紹介

上京区役所では、区内で新たに実施される区民やNPO、事業者の方々の自発的、主体的なまちづくり活動に対して、活動初期にかかる経費の一部の補助等を行っています。過去の対象事業の概要や活動成果等はこちらからご覧いただけます。



▲詳しくはこちら



上京ふれあいネットカミングとは...

上京区内でまちづくりに取り組んでいる個人、団体、NPO等の情報、上京区内の地域情報及び行政等の情報を集約しそれを広く発信するWebサイト。

<https://www.kamigyoe.net>



ホームページ

上京 カミング

検索



Facebook

Facebookでも配信中

多くのレポーターが学びながらまちづくりに関わる方々やイベント等を取材しています。取材を通じて、人や思いがつながり、より良いまちになることを目指しています。普段はWeb発信が主になりますので、この1年間を振り返り本紙でその一部を紹介します。

カミングが大事にしていること

- 区民の方々と連携して、地域の魅力の再発見につながるような情報を提供すること。(取材の企画段階から、編集に携わる区民の方々と協議を重ねています。)
- 取材を通じてできたつながりを活用し、地域コミュニティの活性化を図ること。
- 上京に暮らす人が、まちづくりに関わりたくくなるような記事・デザイン・メッセージを発信すること。

レポーター募集

一緒にカミングを盛り上げませんか?

毎月新たな取材先や希望などを調整しインタビュー、写真撮影、原稿作成など担当を決め複数で取材しています。ご自身で興味のある内容を取材し、レポートすることも可能です。

取材依頼募集

こんな楽しい場所を見つけました!! こんな楽しいイベントやります!! など

自薦他薦は問いません。オススメの人物、スポット、イベントなどをお寄せください。

お問合せ 上京区役所 地域力推進室 企画担当

TEL: (075) 441-5029 FAX: (075) 432-0566



令和6年3月発行 京都市印刷物 第054940号
発行:京都市上京区役所 地域力推進室(企画担当)

上京ふれあいネット KAMING カミング



令和5年度を振り返って

この1年間にカミングに掲載した記事の一覧です。

- I** イベントレポート/まちと人をつなぐイベントのレポート
- P** カミングパーソン/様々な分野で活躍する方の紹介
- S** カミングスポット/まちの注目スポットの紹介

ふれあい

- P** 子ども一人ひとりの個性と未来に向き合って
～学習支援・居場所づくり団体 満天～
- S** ごみは誰かのパイプ役一つなげてやさしい
「上京 eco リユース図書館」「東部まち美化リユース図書館」
- S** 障害のある人の作品や表現に出会える場「art space co-jin」
- P** 西陣織で「これな～んだ?」一触って学べる絵本を制作
- I** 室町体育振興会創立70周年記念 室町区民体育祭2023年
- I** 世代を超えてお汁粉でつながろうー同志社大学経済学部同経会プロジェクト×老松
- I** 大学生が地域とつながるきっかけをつくる
～同志社大学ボランティア支援室学生スタッフ ARCO～



文化の継承

- S** レトロ銭湯で心もほっこり古くて新しいまちのお風呂屋さん「源湯」
- I** 4年ぶりの復活、第7回能舞台フェスタ in 今宮御旅所
- I** 短冊のはじまり 梶の葉飾りをつくろう!
- I** 一文化庁京都移転記念一第57回 上京新能
- P** 豊の魅力音楽で伝える「日本豊楽器製造」
- P** 大学を飛び出し街で学ぶ～地蔵盆を通じた地域との交流～
学生団体 edunka
- S** アートと交流・地域住民とともに生きる堀川商店街



子どもとともに

- I** 元西陣小活用実験企画一西陣ベースメント
- I** 日常に溶け込む子どもの居場所「だがしやパンダ」
- I** チャレンジ木工体験第一弾
「削ってチャレンジ!木のボール作り&木の遊び～」
- I** 元気に楽しく!西陣の伝統文化を織り交ぜた夏祭りを開催
- I** 威力満点!水でつぼう工作と水遊び
- I** 子育て中のお母さんとお父さんが集い、つながり、リフレッシュのひと時を
第23回ドリームチルドレン～上京わんぱく広場～
- I** 大盛況!子どもが輝く発表と遊びの場～ゆめのこフェスティバル2023～
- I** チャレンジ!木工体験第二弾「削ってチャレンジ!～空飛ぶ丸太作り～」



Webサイトで掲載した内容を一部お届けします!

Take Free

上京ふれあいネット KAMING カミング プラス

◎カミングレポート特集

- ### ふれあい
- ごみは誰かのパイプ役一つなげてやさしい
「上京ecoリユース図書館」「東部まち美化リユース図書館」
 - 室町体育振興会創立70周年記念 室町区民体育祭2023年
 - 世代を超えてお汁粉でつながろうー同志社大学経済学部同経会プロジェクト×老松

文化の継承

- レトロ銭湯で心もほっこり古くて新しいまちのお風呂屋さん「源湯」
- 一文化庁京都移転記念一第57回 上京新能
- 豊の魅力音楽で伝える「日本豊楽器製造」

子どもとともに

- 日常に溶け込む子どもの居場所「だがしやパンダ」
- 元気に楽しく!西陣の伝統文化を織り交ぜた夏祭りを開催
- 威力満点!水でつぼう工作と水遊び

◎上京ふれあいネットカミングとは...

レポーター・取材依頼募集

◎令和5年度を振り返って...



ふれあい 長いコロナ禍が明け、人と人のふれあいの場が少しずつ増えてきました。様々な交流を通して、地域の絆が深まっています。

ごみは誰かのパイプ役—つなげてやさしい
「上京ecoリユース図書館」「東部まち美化リユース図書館」



上京エコまちステーションでは、「上京ecoリユース図書館」というリユース可能な本を集める取組が実施されており、連日通うファンもいるほど、気になるスポットになっています。東部まち美化事務所総合環境推進員兼崎さん、上京エコまちステーション作業長村上さんにお話を聞きました。窓口を持ち込まれたリユース可能な書籍・絵本は、1人2冊まで自由に持ち帰ることができ、また、リユース可能な本や子ども向け絵本、児童書は、1人1回10冊まで持ち込むことができます。1つだった本の棚が、今では4つに増え、本の種類も多岐に及んでいます。左京区高野にも東部まち美化リユース図書館が開設されており、ごみをパイプに人のつながりが育まれています。



室町体育振興会創立70周年記念
室町区民体育祭2023年



10月には各学区などの体育振興会が主催となり、体育祭が開催されます。創立70周年を迎えた室町体育振興会真田明会長に体育祭の歴史、課題や展望などを伺いました。昭和55年(第27回)には町内の6割を占める44町内もの参加があったそうですが、これをピークに各町内の高齢化と小学生の数が減少していき、10年ほど前から参加する町内も減り始めました。そんな課題と向き合い、参加しやすく、地域の交流を増やしていける体育祭を目指し、70年の歴史に新しい風を吹かそうとしています。



世代を超えてお汁粉でつながろう—
同志社大学経済学部同経会プロジェクト×老松



同志社大学経済学部同経会プロジェクトに携わる1~3年生32名の学生と、京都北野の「有職菓子御調進所 老松」が共同開発した「お汁粉」が11月、北野天満宮の天神市で販売されました。商品開発や販売戦略のブラッシュアップを重ね、「つながり」をキーワードに準備を進め、提供する容器に学生からのメッセージが添えられるなど、身も心も温まるものになりました。残念ながら販売数は目標に及びませんでした。学生たちはお客様の声を聞くとともに、課題を認識することができました。京都の老舗と若いアイデアの可能性に新たな1ページが加わり、地域の活性化にもつながることを感じました。



子どもとともに

これからの未来を担う子どもたちを主役にした活動や安心して子育てできる取組などが活発に行われています。

日常に溶け込む子どもの居場所「だがしやパンダ」

自宅のガレージを開放して「だがしやパンダ」を営む鈴木朝渚さんを取材しました。店内には、色とりどりの駄菓子やおもちゃが並び、放課後や休日に子どもたちがお小遣いを手にやって来ます。お菓子を選び、友達と過ごす地域の駄菓子屋さん、子どもにとって行きつけの場、社会と関わる場になっているようです。



元気に!楽しく!西陣の伝統文化を織り交ぜた夏祭りを開催



西陣を活性化したいと思う地域の事業者が集う「西陣サロン」と「西陣Fes実行委員会」は、西陣の伝統文化や商いに触れる機会を子どもたちに提供するため、夏祭りを行いました。子どもたちは、ミニ畳づくりや餅焼き、京繻の塗り絵などを体験したほか、射的や輪投げなどの縁日を楽しみ、千本ゑんま堂大念佛狂言保存会による狂言を鑑賞し、当日は終始大賑わいでした。

験したほか、射的や輪投げなどの縁日を楽しみ、千本ゑんま堂大念佛狂言保存会による狂言を鑑賞し、当日は終始大賑わいでした。



威力満点! 水てっぽう工作と水遊び

今夏、一般社団法人共同学童保育所虹の子クラブは、水てっぽう工作と水遊びのイベントを開催し、60名の子どもが参加しました。子どもたちは部品を組み立て、約50cmの塩ビパイプ製の水てっぽうを作った後、水てっぽうや6,000個の水風船を使って、水を掛け合いながら元気いっぱい遊びました。



文化の継承 暮らしの中に多彩な文化が息づく上京区。こうした文化を次世代に伝える取組を紹介しています。

レトロ銭湯で心もほっこり—
古くて新しいまちのお風呂屋さん「源湯」



源湯は、1928(昭和3)年創業のまちのお風呂屋さん。通称「げんゆ」と呼ばれ親しまれています。老朽化が進み廃業予定だったところ、銭湯継業の専門集団ゆとなみ社が引き継ぎ、2019年7月リニューアルオープンしました。京都の銭湯が年々減少する中、こどもの日には子どもたちに番台体験をしてもらう「キッズ番台」や、入浴中の災害に備えた「防災訓練」など、銭湯と新しい企画を掛け合わせてユニークかつ、地域にとって欠かせない役割を果たしています。



—文化庁京都移転記念— 第57回
上京新能



幻想的なかがり火の下、白峯神宮に設けた特設能舞台で能・狂言などが演じられる「上京新能」。その歴史や楽しみ方を河村和重上京新能実行委員長に伺いました。「上京新能」は昭和34年「能・狂言の夕べ」として、河村北星師と三世茂山千作師の御尽力のもと始まり、その後名称や内容が変更され、現在の形になりました。(令和5年度は、雨天のため金剛能楽堂で開催となりました。)二部構成で、能・狂言以外にも箏などの演目も披露されます。きらびやかな西陣織の装束も目が離せません。



畳の魅力音楽で伝える
「日本畳楽器製造」

1869年から大宮通に店を構える西脇畳敷物店。5代目店主の西脇一博さんは、「音楽を通じて畳の魅力を伝えられたら」と、2010年に音楽バンド「日本畳楽器製造」を結成しました。ギターやドラムなどの楽器を畳で作り、地域や学校、商店街などの行事で演奏しています。明るいつとくと歌で場を盛り上げ、近年は海外からも声がかかり、活躍の幅を広げています。

